

市史編さん室 事務局活動報告

(平成二六年一月～一二月)

I 古文書等調査報告

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、各専門部会活動の資料とするため、市内にある古文書等の歴史史料について、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

平成二六年一月から一二月の間に、一三件の文書群(総点数六一九〇点)について調査を終えた(一部を除き、次項にそれぞれの文書群に関する解説を付した)。これにより、平成一九年度より約一三六件(総点数五三〇〇点超)の調査を終えたこととなる。なお、平成二六年一二月末日の段階で、二一件(総点数四二〇〇点超)の史料群を借用しており、現在調査を進めている。他に、熊谷市で所蔵している一七件(総点数二万点超)や市外の史料保存機関等で所蔵している古

文書等についても、随時調査を行っていく予定である。

二 調査終了文書の紹介

新島新島順一家文書 九四一点

平成二四年五月一日、六月一日に借用した近世・近代文書である。新島家は江戸時代に新島村の名主を勤め、明治になっても戸長を勤めた旧家である。初見は、宝永三年(一七〇六)「御年貢帳(写)」である。他には、戸長役場、新照寺、家では金銭出納帳、書籍類が散見する。政治・行政では、明治三年(一八七〇)・明治一年(一八七八)の諸用留、貴重であろう。社寺では、文政五年(一八二二)新照寺の新古什物帳や、文政七年(一八二四)から天保二年(一八三一)の焼失并普請諸用留、中でも金銭出入は、慶応四年(一八六八)から大

正二年（一九一三）までの金銭出入帳が三四冊残存しており、明治期における新島家の経営状況を推移できる内容となっている。本文書群は近世・近代における新島村の歴史の一端を、明らかにしうるものといえよう。調査を終了した後、平成二六年四月五日に文書を返却した。なお、同年五月一三日に新島自治会館で行われた市政宅配講座では、所蔵者の許可をいただき同家文書を使用し、新島の歴史を地元の人々に紹介することができた。

（水品）

妻沼 田島通明氏収集文書 六点

平成二六年三月、四月、六月に借用、寄贈いただいた近代文書である。史料は明治三七年（一九〇四）の妻沼小島の赤石和平宅地図と伊勢参宮道中経費精算帳（コピー）、写真では伊勢参宮同行者集合写真、大我井神社大前奉納伊勢大廟参拝者集合写真、明治期の丈量帳二冊（出所は都島村、現本庄市）である。本文書群は、近代妻沼地域の伊勢参宮関係資料として貴重である。調査が終了して、平成二六年四月九日、六月二日に史料を返却した。なお、丈量帳二冊と、刊行物である金井元治著『備

前渠史』上・下巻（大正二年刊行）の寄贈を受けた。

（水品）

男沼 長勝寺文書 一六点

平成二六年九月に長勝寺仏像補足調査と併行して現地調査した近代文書であり、本堂に飾られている写真、賞状類である。初見は大正一四年（一九二五）三月一六日の「春蚕繭正量取引実行二付三等賞状」である。写真では、昭和一六年（一九四一）の献上大和芋謹操作業の写真や、昭和三三年（一九五八）本堂改築上棟記念写真が重要であろう。賞状類では、男沼村農事組合の農産物共進会における葱の表彰がある。昭和九年（一九三四）には、大日本蚕糸会より男沼村養蚕実行組合に賞状と旗が授与されている。本文書群は近代男沼地域の組合に関するものとして貴重であろう。本文書群は、調査を終えた後も長勝寺で保管している。

（水品）

今井 鯨井良治家文書 三五点

平成二六年九月に借用した近世・近代文書である。鯨井家は明治八年（一八七五）より牛乳搾取業を始めた商家である。初見は文政一三年（一八三〇）再版の「東海

道中仙道里程表」(刷物)である。創業者鯨井治助が明治八年に西洋乳牛を購入した請取証をはじめ、明治三五年(一九〇二)に設立した合名会社鯨進社の定款や、鯨井治助経歴書などが特に重要であろう。他には、鯨井家では軍用鳩の飼育もおこなっており、昭和戦前期の埼玉県伝書鳩連合会主催の競翔成績表などが残されており、その一端がうかがえる。本文書群は、熊谷地域における近代産業の一角を担う資料として注目されよう。調査を終了した後、平成二六年九月二四日に文書を返却した。その後、本文書群は大八車などのモノ資料と合わせて熊谷市立熊谷図書館に寄贈されている。(水品)

大原野村弘家文書 二四点

平成二六年一〇月に借用した近代・現代文書である。初見は明治四四年(一九一一)「小島同志会沿革史」である。本文書群は、妻沼小島にある野村辰五郎家内に同会事務所が設置されたことから、同会の運営資料が保存されていた。主な史料は前述の沿革史をはじめ、日誌二冊、会計簿、貯金台帳、肥料共同購入貸付控帳、桑園出勤簿、会員名簿などがある。中でも沿革史には設立動機、

小島同志会規程、会則、貯金運用規定など様々な内容が盛り込まれている。また、日記は明治四四年(一九一一)から大正一〇年(一九二二)(二冊分)の活動内容が詳細に記されており、貴重であろう。本文書群は近代妻沼小島で結成された小島同志会の歴史を知ることのできる史料として注目されよう。なお、小島同志会については、『私のふるさと小島』(小島歴史研究会編、二〇一四年)を参照のこと。調査を終了した後、十一月一七日に文書を返却した。(水品)

玉井元素楼関係文書(鯨井勘衛家文書) 三五点

市指定文化財。熊谷市立熊谷図書館所蔵。平成二六年八月三一日に近代専門部会調査の一環で現地調査した近代文書である。元素楼とは明治二年(一八六九)に玉井村の鯨井勘衛が設けた養蚕飼育所のこと、清涼育という飼育法を提唱して指導を行った。鯨井勘衛は玉井村の名主家に生まれ、桑樹を陸田に栽培して養蚕・生糸の製造に従事した人物で、本文書群は鯨井勘衛家に伝来していたものである。初見は安政二年(一八五五)「養蚕手引抄 全」である。鯨井勘衛が蚕種製造大物代に任命さ

れた申附状をはじめ、同著の「蚕業得失論」、「養蚕大得書」、「養い草」、「養蚕手引草」が貴重である。中でも御用簿、公用記、御沙汰御廻状留は、養蚕に関する諸廻状を記録したものや当時の出来事を記した日記でもあり、大変貴重である。本文書群は熊谷地域の養蚕関係として欠かすことの出来ない重要な文書群である。調査を終了した後も本文書群は、熊谷市立熊谷図書館にて保管されている。

(水品)

代 代島久輝家文書 一〇一五点

近世専門部会の古文書所在確認調査にて古文書の所在を確認し、平成二四年四月二六日に借用した近世・近代文書である。代島家は、農業経営を中心に質屋も経営し、村役人などを勤めた。久兵衛は、算術家としても著名であり、同家の算額が市の有形文化財に指定されている。初見は元禄一一年(一六九八)「算法天元指南一二三二(写)」で、江戸後期から明治期の文書が中心である。全体的に算術、年貢・村入用、戸長役場、用水に関する文書が多い。算術関係では、代島久兵衛による、寛政八・九年(一七九六・九七)「算用法伝記」(二冊)、享和四年

(一八〇四)「算用帳」が重要である。また、天保一一年(一八四〇)「熊谷寺御朱印地分間野帳」(六冊)などの熊谷寺に関する野帳や絵図がまとまっている。測量などにたずさわったのであろう。幕末期の年貢や村入用関係文書もある程度まとまっている。村入用については、続けて明治期の村費簿も遺されており、近世・近代移行期における村入用の段階的な変化を追うことができよう。さらに、代村戸長役場文書など明治期の良質な行政文書もある。御用留や土地台帳などの基本的な文書が遺されている。村吏については、明治一五年「大里郡代村々吏員進退録」などがあり、役場運営の状況をうかがうことができる。荒川玉井堰用水組合関係の文書が多いことも本文書群の特徴である。幕末には、久兵衛が棹取を勤めていたようであり、算術と測量を結びつける技術者としての役割をうかがい知ることができよう。明治期になると、忠義が玉井堰用水組合の用元を勤めており、帳簿類も用水普請の目論見帳・出来形帳、勘定帳や諸入費割合帳、用水費関係文書、野帳類などの文書が多く遺されている。絵図では、安政四年「籠絵図面」や玉井堰用水絵図が貴重である。調査を終了した分から返却し、平成

二五年六月二〇日に一部を返却し、残りを平成二六年四月八日に返却した。
(栗原)

広瀬 高橋家文書 二点

平成二六年六月一二日に文化財保護係・市立熊谷図書館と合同で訪問して調査した近世文書である。享保一一年(一七二六)の広瀬郷検地図と天明三年(一七八三)の浅間山噴火状況図(ともに市指定文化財)である。前者は、慶長期に広瀬村で行われた検地の内容を一筆ごとに絵図に落としたもので、作成者は惣右衛門・茂兵衛とある。後者は、浅間山噴火の被害状況を示した絵図である。現地調査として、原本を実見し、写真撮影をさせていただいた。大変貴重な文書群である。
(栗原)

上根 大性寺文書 一一〇点

市史編さん室の仏像調査の際に古文書の所在を確認し、改めて平成二六年一月一二日に現地にて調査した近世・近代文書である。初見は、安永二年(一七七三)「茶湯料証文之事」であるが、近世文書は九点だけで、近代文書が中心である。文書の内容としては、寺院の小作関

係文書が多いが、水害による租税の免除願、廓ごとの「役儀務順番帳」、「季中行事記」など興味深い文書がある。なお、他に聖教や書籍などの所蔵を確認したが、今回の調査では古文書にしほって調査させていただいたこととお断りしておきたい。
(栗原)

妻沼 小池家文書 追加調査分 三九五四点 154頁参照

弥藤吾 小暮千吉氏収集文書 三四点 147頁参照

深谷市 奥田豊氏収集文書 一四点 173頁参照

代清水松次郎家文書 四点 173頁参照

最後に、古文書の調査をさせていただきました所蔵者の皆様に厚くお礼申し上げます。

(文責 栗原健一 水品洋介)

II 埼玉県行政文書調査報告

熊谷市史近代専門部会の要望で、埼玉県立文書館にある国重要文化財に指定されている埼玉県行政文書の中から、熊谷に関係する史料の調査を実施している。事務局では協力員と共に、平成二四年度から埼玉県行政文書調査を開始して、平成二六年一二月末までに、写真撮影した文書は約二一七〇点、総カット数約二六〇〇〇に及んでいる。明治、大正期の埼玉県行政文書で近代専門部会から要望のあった主要文書は、概ね撮影が終了したため、現在は昭和戦前期の調査を実施している。今後も継続的に調査を進めていきたい。

(文責 水品 洋介)

III 新聞記事調査報告

平成二四年度より埼玉県内で発行された新聞記事調査を開始している。基本方針は埼玉新聞を中心に四大新聞の地方版から熊谷に関する記事を収集することである。

埼玉新聞に関しては、県立図書館での見出し検索が可能となり、作業の効率化を図れた。検索結果の見出しを各委員に提出して、担当分野で必要な記事のみ複写・撮影して収集を開始した。平成二六年一二月現在で委員より要望のあった記事は概ね収集が完了した。

戦前の新聞記事は、埼玉県立文書館の複製新聞から熊谷関係の見出しを目録化する作業を実施している。協力員を中心に調査を行い、平成二六年一二月末に一三紙、見出し数二一七五〇点を目録化した。現在は東京日日新聞（埼玉版）の調査を継続中である。また、事務局で調査継続している市内諸家文書調査で出てくる新聞についても、熊谷関係の見出し抽出作業を行っており、随時データを統合している。

なお、複写した新聞記事整理を、五年経験者研修における社会貢献活動体験研修生と社会教育実習生にも協力いただいた。今後も見出し記事目録化作業を継続していくとともに、複写作业も進めていきたい。

(文責 水品 洋介)

IV 小中学校調査報告

平成二五年度より熊谷市内の小中学校所蔵の歴史資料等の調査を開始している。調査者は近代専門部会、現代専門部会の教育分野担当の高橋和弘、高橋信之専門調査員の二名と事務局で現地調査を実施した。平成二六年一二月末までに八回、計二〇校の調査を実施した。調査方法は、各小中学校に所蔵されている明治以降の学校沿革誌を中心に諸資料を見つけてその所在情報を得ることと、特に重要な資料については写真撮影を行い、一六九点の史料を撮影した（部分撮影も含む）。今後も小中学校調査を継続していく予定である。

なお、七月二九日の調査に限り、平成二六年度の五年経験者研修における社会貢献活動体験研修の研修者である、鈴木陽子（妻沼小学校）、本橋三四郎（男沼小学校）の両教員にも市史編さん室の事業活動体験として、学校調査に協力していただいた。

以下、調査順に調査年月日、各小中学校の簡単な現在までの経緯にふれた後、所蔵文書を紹介しておきたい。

熊谷西小学校

平成二六年一月二九日現地調査。

明治六年（一八七三）正即小学熊谷学校として開校。明治一三年熊谷学校、明治四三年熊谷女子尋常高等小学校、大正一二年（一九二三）熊谷町立女子尋常高等校、熊谷西尋常高等小学校、昭和一六年（一九四一）熊谷西国民学校、昭和二二年熊谷西小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、昭和二二年から昭和四〇年の学校日誌、職員出勤簿、戦災寄附受入簿、西校復興後援会特別寄付芳名録、学級編成書類、西小学校の記録などである。中でも大正一五年に熊谷女子尋常高等小学校で作成された学習本位の教育は、当時の教育理念をまとめたものとして大変貴重である。

大原中学校

平成二六年一月二九日現地調査。

昭和二三年（一九四八）開校して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、おほら（中学校創立二〇周年記念誌・三〇周年記念誌）、校舍落成記念誌などである。他には、昭和三三年石坂養平書の大原中学校

校歌、同校歌楽譜（作詞石坂養平、作曲荒井敬正）の調査を行った。また、小暮初江事務主幹より故小暮千吉氏編さん資料原稿を借用した（寄贈文書紹介147頁参照）。

石原小学校

平成二六年一月二九日現地調査。

明治六年（一八七三）元石原村を二区に分け各区に小学校を設置して開校。明治二〇年両校を合併して石原小学校、昭和一六年（一九四一）石原国民学校、昭和二二年石原小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、陳情書、寄附者芳名録、諸願書綴、創立百年紀念行事実行委員会記録、校地拡張に干する諸綴などがある。中でも石坂小学校九〇年のあゆみ関係の草稿や、記念写真などがまとまって保存されている。また、明治期に使用されたと思われる教科書類も多数あり、その一部は廊下のガラスケースにて展示されている。

久下小学校

平成二六年六月二五日現地調査。

明治六年（一八七三）四月、佐谷田村永福寺に開校。明治一九年医王寺前に大里郡第三番学区啓発学校、明治二二年尋常久下学校、昭和一六年（一九四一）久下国民学校、昭和二二年久下小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、明治三二年・大正八年、昭和一八年から昭和五〇年の学校日誌、学校一覽表綴、児童図書台帳、学籍簿などである。特に学校日誌は戦前のものがあり、昭和二〇年の学校日誌をみると終戦当日の様子が記載されており貴重である。他には、郷土資料館（民具室）にある戦前の教科書類が多数保存されている。

富士見中学校

平成二六年六月二五日現地調査。

昭和二二年（一九四七）開校して現在に至る。主な所蔵文書は、学校沿革誌（昭和五三年以降）、昭和三六年度からの学校要覧、昭和二三年の校舎設計図、昭和三二年の体育館兼講堂工事設計綴、昭和三五年の寄附採納願綴、卒業証書授与台帳などである。

玉井中学校

平成二六年七月二九日現地調査。

明治三二年（一九四七）開校して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、旧職員履歴書綴、辞令綴、卒業証書授与台帳、除籍簿、入退学簿、記念アルバム、卒業アルバム、玉中PTA新聞若木、玉なすなどである。なお、校長室には大久保喜一画「晩春」が飾られている。

玉井小学校

平成二六年七月二九日現地調査。

明治六年（一八七三）久保島学校として開校。大正八年（一九一九）玉井尋常高等小学校、大正一三年玉井国民学校、昭和一〇（一九三五）年玉井青年学校、昭和一六年玉井国民学校、昭和三二年玉井小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、玉井村教育史、学校一覽表、卒業生名簿、成績考査簿、小学校調査表、土地登記調査書、予算書綴などである。他には、倉庫にある民具が保存されている。中でも予算書には、大正二年か

ら昭和一五年までの玉井村役場歳入出予算が綴られており、村役場の経済状況を知りえる貴重な資料である。

奈良小学校

平成二六年八月二八日現地調査。

明治六年（一八七三）奈良学校として開校。明治三二年奈良尋常小学校、昭和一六（一九四一）年奈良国民学校、昭和三二年奈良小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、奈良村郷土誌、奈良村教育史、学校一覽表、寄付台帳、国民学校改称記念（写真帖）、奈良村だより、開校一〇〇周年記念行事綴、校地平面図、職員履歴書綴などである。

中でも奈良村郷土誌、奈良村教育史は郷土の歴史をまとめたものとして貴重である。他には、校長室に明治七年奈良小学校開校記念日定書、明治六年誓文があり、開校当時のものとして大変貴重である。

奈良中学校

平成二六年八月二八日現地調査。

昭和三二年（一九四七）開校して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革史、寄附台帳、卒業生寄附台帳、特志寄付金使途明細、卒業記念アルバム、航空写真などである。校長室には石坂養平書の奈良中学校校歌、石坂養平作詞・書の奈良小学校校歌が飾られており、貴重である。

大麻生中学校

平成二六年一月一七日現地調査。

昭和二二年（一九四七）開校して現在に至る。

主な所蔵文書は、沿革誌、寄附台帳、大麻生中学建築作業写真記録、昭和三〇年代の卒業写真、工事写真などである。中でも大麻生中学建築作業写真記録は、昭和二四年から昭和二五年に当時の教諭によって作成されたもので、校舎新築に際して撮影した写真と内容を記録しており、建築工程をたどれる好史料である。

大麻生小学校

平成二六年一月一七日現地調査。

明治一三年（一八八〇）大麻学校として開校。明治二五年大盛尋常小学校、明治四一年大麻生尋常小学校、

昭和一六年（一九四一）大麻生国民学校、昭和二二年大麻生小学校と改称して現在に至る。

主な所蔵文書は、学校沿革誌、大麻生村教育誌、学校一覧表、学校視察簿、職員履歴書綴込、定期監査文書綴、寄附台帳、証憑書類綴、開校百年祭関係書類などである。中でも学校一覧表は、明治三二年から戦後まで編年で保存されており貴重である。

（文責 水品 洋介）

V 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規程に基づき保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史的公文書として重要な文書を収集保存している。

本年度は平成二六年三月末で保存年限満了となる文書から、保存箱数で一五八箱分の行政文書を収集した。行政文書の保存年限は五年、一〇年のもので、保存箱の各庁舎より収集した分は、本庁第二文書庫分二三箱、佐谷

田文書庫分九七箱、妻沼行政センター分一二箱、江南行政センター分一一箱、大里行政センター分一五箱である。収集後の整理作業は、平成二五年度分の一三四箱の整理が終了して、新調した保存箱で五二箱となった。現在は平成二六年度分の一五八箱の選別、整理、保存作業に着手しており、妻沼、江南、大里分はすでに終了している。また、今年度は全国育樹祭資料（一箱）、大里広域市町村圏組合関係資料（一箱）、庶務課・企画課・産業観光課・広報広聴課より写真・モノ資料など（二箱）、大里第二保育所関係資料（三点）の移管をうけて、それぞれ整理を終了している。

（文責 水品 洋介）

VI 考古資料の整理

考古資料編の刊行に係る本編原稿を取りまとめと、新たな作成図版の製作と組版の編集作業を入稿予定の五月末、六月末に分けて分担実施した。七月末には追加原稿もほぼ完了した。校正稿を各執筆者へ出稿するとともに、事務局校正作業を進めた。挿入写真について対象遺跡と遺構・遺物写真の種類、構図の選定および収集を八月を目途に始めた。市発掘調査分については市文化財保護係の協力を得た。市外部所蔵の写真は県立さきたま資料館と東京国立博物館に申請を行い許可と提供を得た。新たに撮影する資料では別途協力員により、「諏訪木遺跡」「下田町遺跡」について撮影をした。また、校正等繁多に係る十一月から臨時職員を充て、分担作業を行った。事務局分担原稿の確認など資料調査のため、県立文書館で根岸家文書等の調査を行った。

市史報告書の刊行に向けて、整理及び執筆を進め、本年度刊行の予定である。

（文責 新井 端）

Ⅶ 市史編さん業務日誌

【平成三十五年度】

1・7	民俗専門部会打合せ	2・7	刊行物展示・販売(国立女性会館)	2・27	熊谷商工会議所資料調査
1・11	第三回考古専門部会会議(熊谷図書館)	2・6	「別編1」編集委員出張校正(妻沼展示館)	3・3	妻沼田島通明氏収集文書借用
1・14	妻沼聖天山の貴惣門文書返却	2・7	四方寺吉田康久家文書調査経過報告	3・4	「別編1」妻沼聖天山校正依頼
1・15	籠原遺跡土壌調査	2・11	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚泰久家・飯塚誠一郎家・吉田康久家文書、以下の同調査も同じ。立正大熊谷、12日)	3・7	第三回近世専門部会会議(立正大崎)
1・17	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会(以下、「埼玉協」とする)視察研究会(渋沢史料館、北区中央図書館)	2・11	妻沼聖天山の建築専門部会歴史担当打合せ(立正大大崎)	3・7	立正大学古文書研究会との共同調査(立正大熊谷、12日)
1・18	前中西遺跡土壌調査	2・11	近世専門部会巻担当打合せ(古文书所在確認調査打合せ(立正大大崎))	3・8	第四回考古専門部会会議(熊谷図書館)
1・19	妻沼聖天山の建築専門部会聖天山石造物調査(妻沼聖天山)	2・11	東京都日野市立新選組のふるさと歴史館根岸友憲家文書調査	3・9	通史編上専門部会長会議(熊谷図書館)
1・20	間々田弘法寺、歓喜院銅鐘調査	2・12	吉田市石衛門家文書撮影(県立文書館)	3・9	編集会議(熊谷図書館)
1・23	今井井桁正喜家文書返却	2・13	考古専門部会図版等集約(妻沼展示館)	3・9	「熊谷市史料集1」原本校正(県立文書館)
1・23	熊谷商工会議所資料調査	2・19	池上古宮神社獅子頭調査・撮影	3・9	妻沼小池仁家文書借用
1・26	第四回現代専門部会調査・会議(妻沼展示館)	2・21	石原佐久間俊雄家文書借用	3・11	妻沼小池仁家文書追加借用
1・28	青山根岸友憲家文書調査経過報告	2・21	第一回古代専門部会会議(大東文化大板橋)	3・12	「別編1」編集委員確認作業(妻沼展示館)
1・29	近代・現代専門部会学校調査(熊谷西小・大原中・石原小)	2・23	能護寺梵鐘調査・撮影	3・15	佛像調査(弥藤吾観清寺、弥藤吾福寿院)
2・1	第四回民俗専門部会会議(妻沼展示館)	2・24	男沼高柳初衛家文書返却	3・17	第二回妻沼聖天山の建築専門部会会議(立正大崎)
2・2	嵐山史跡の博物館シンポジウム	2・25	東別府富田喜一家文書返却	3・18	栃木県那須野が原博物館資料調査
		2・27		3・20	近世専門部会古文書所在確認調査(12日)
				3・21	第二回古代専門部会会議(巡見商工会館、江南文化財センターほか)
				3・22	中世石造物調査(荒川南地域)
				3・25	「熊谷市史 別編1 民俗」発行

3・25	「熊谷市史研究第6号」発行	5・2	立正大学古文書研究会との共同調査(くまびあ、5・7日)	6・4	弥藤吾故小暮千吉氏編さん資料及び収集文書借用
3・25	「熊谷市史料集1吉田市右衛門家文書」記録」発行	5・2	箱田齋藤孝一家文書追加借用	6・5	熊谷商工会議所資料借用
3・25	石井コレクション文書調査(江戸東京博物館)	5・5	第一回中世専門部会会議(熊谷図書館)	6・5	東別府宮本利夫氏来室
3・25	熊谷商工会議所資料調査	5・7	青山根岸友憲家文書一部返却	6・13	広瀬高橋家文書調査
3・26	「資料編1」打合せ等(妻沼展示館)	5・8	埼玉協加盟自治体への図書配布及び家わけ文書調査(県立文書館)	6・14	中世石造物調査(村岡、旧大里地区)
4・4	全国育樹祭関係資料移管	5・10	熊谷市郷土文化会総会刊行物展示・販売(上之龍淵寺)	6・15	第一回考古専門部会会議(熊谷図書館)
4・7	代代島久輝家文書返却	5・11	「別編1」協力者への贈呈配本開始	6・16	新聞記事調査(熊谷図書館)
4・8	飯塚鈴木進家・青山根岸友憲家調査・報告	5・12	市政宅配講座(新島自治会館)	6・17	新聞記事調査(県立文書館、5・19日)
4・9	妻沼田島通明氏収集文書返却	5・13	西野宮本晋一家文書追加借用	6・18	仏像調査(妻沼花蔵院、上之龍淵寺)
4・11	妻沼田島通明氏収集文書借用	5・16	仏像調査(道ヶ谷戸宝珠院、妻沼瑞林寺)	6・19	熊谷商工会議所資料返却
4・11	妻沼田島通明氏収集文書借用	5・19	廃棄行政文書の収集	6・21	熊谷商工会議所資料返却
4・14	長昌寺	5・20	考古専門部会打合せ(妻沼展示館)	6・22	中世石造物調査(吉岡、大里地区)
4・14	箱田念仏堂墓石調査(東齋藤家墓地)	5・22	瑞林寺	6・23	第一回民俗専門部会会議(熊谷図書館)
4・14	西野宮本晋一家文書調査報告	5・23	埼玉協総会、40周年記念式典(埼玉会館)	6・24	第一回妻沼聖天山の建築専門部会会議(立正大品川)
4・15	新島新島順一家文書返却	5・23	中条小学校民俗資料写真受入	6・25	西野宮本晋一家文書追加借用
4・17	埼玉協第一回理事会(県立文書館)	5・24	中世石造物調査(吉岡地区)	6・28	近代・現代専門部会学校調査(久下小・富士見中)
4・20	中世石造物調査(石原、大原地区)	6・2	近江商人関係資料調査(都立中央図書館)	6・28	下奈良飯塚誠一郎家文書調査報告
4・21	玉作須藤達也家文書借用	6・3	妻沼田島通明氏図書寄贈	7・6	第一回現代専門部会会議(妻沼展示館)
4・28	上須戸村・玉井村文書購入	6・3		7・8	埼玉新聞社取材対応
		6・3		7・9	箱田齋藤孝一家文書一部返却
		6・3		7・10	埼玉県行政文書調査及び埼玉協地域史料実務研修会(県立文書館)
		6・3		7・18	第一回近世専門部会会議(立正大品川)

【平成二六年度】

市史編さん室 事務局活動報告

7・20	中世石造物調査・会議(吉岡、大里地区、吉岡公民館)	8・27	くまがや農業協同組合本店資料返却・追加借用	9・16	近世専門部会関西調査(滋賀大等、5/18日)
7・24	市史編さん委員会事前協議(中央公民館)	8・28	近代・現代専門部会学校調査(奈良小・奈良中)	9・17	大里広域圏市町村組合資料移管(曙町)
7・25	近江商人関係資料調査(国会図書館)	8・28	家わけ文書等文書調査(県立文書館)	9・20	中世石造物調査(肥塚、大幡、市街地区)
7・28	社会貢献活動体験研修教員受入(2名、5/29日)	8・28	代清水松次郎家写真資料借用	9・21	妻沼逸見敏子家文書調査(妻沼展示館)
7・29	近代・現代専門部会学校調査(玉井中・玉井小)	8・31	第一回近代専門部会調査・会議(熊谷図書館)	9・21	妻沼展示館収蔵庫燻蒸(5/23日)
7・30	仏像調査(中奈良長慶寺、西城長慶寺)	9・2	妻沼小池仁家文書追加借用	9・22	四方寺吉田六左衛門家文書調査(熊谷図書館)
8・4	社会教育実習生受入(1名)	9・2	深谷市奥田豊氏収集文書借用	9・22	「資料編1」掲載写真収集(江南文化財センター、熊谷図書館)
8・6	立正大学古文書研究会との共同調査(くまびあ、5/11日)	9・2	くまがや農業協同組合本店資料返却	9・24	今井鯨井良治家文書返却
8・8	第一回市史編さん委員会(商工会館)	9・3	代清水松次郎家文書追加借用	9・25	胃山根岸友憲家文書調査報告
8・11	資料編1考古 掲載写真収集(江南文化財センター)	9・4	資料編1考古 掲載写真収集(江南文化財センター)	9・27	第三回考古専門部会会議(熊谷図書館)
8・14	近江商人関係資料調査(国会図書館)	9・5	今井鯨井良治家文書借用	9・28	中世石造物調査(吉岡、大里地区)
8・16	第二回考古専門部会会議(商工会館)	9・8	市政宅配講座(大幡公民館)	9・30	長野家文書等調査(県立文書館)
8・17	川施餓鬼民俗調査(上須戸)	9・11	新聞記事等調査(熊谷図書館)	9・30	「資料編1」写真掲載申請(県立さきたま史跡の博物館)
8・18	妻沼小池瑞枝家文書調査報告	9・12	男沼長勝寺文書・仏像補足調査	10・2	埼玉協第二回理事会、主幹課長等会議(朝霞市博物館)
8・19	くまがや農業協同組合本店資料調査・借用	9・14	立正大学古文書研究会との共同調査(くまびあ、5/17日)	10・4	わくわく探検隊説明(荻野吟子資料館、光恩寺)
8・21	考古資料調査(県立文書館)	9・15	「資料編1」編集委員出張校正(妻沼展示館)	10・5	地方史研究協議会(埼玉)大会実行委員会
8・22	弥藤吾故大山雄三氏収集文書借用	9・15	第二回中世専門部会会議(商工会館)	10・8	弥藤吾故大山雄三氏収集文書追加借用
8・25	家わけ文書等調査(県立文書館)	9・16	地方史研究協議会(埼玉)プレ大会(熊谷図書館)	10・9	新堀森田富士男家文書調査(妻沼展示館)
8・26	資料編1考古 掲載写真収集(江南文化財センター)	9・16	仏像調査(三ヶ尻龍泉寺、東別府香林寺)		

